

令和5年度 進路指導・キャリア教育 全体計画

蓮田市立黒浜西中学校

キャリア教育の目的 生徒一人一人が、社会の中での役割や生き方を展望し、実現を図るために必要な意欲や能力を育成する。	学校教育目標 夢に向かって自ら学ぶ 豊かでたくましい生徒	教育関係法規 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 中学校学習指導要領 埼玉県教育課程編成要領 指導の重点・努力点 等
キャリア教育の内容 ○発達段階に応じたものの見方や行動の仕方の育成 ○自己と社会をとらえ、自分を方向付ける力の育成 ○望ましい勤労観・職業観の育成	目指す学校像 品格ある学校の創造 -歌、花、絵、緑のある 言葉を大切にする学校-	生徒の実態 ほぼ全員が進学を希望している。学力は基礎力・活用力とも全国平均を上回り、生活態度も健全である。自己肯定感や将来に夢を持ち、主体的に学習や生活を送る姿勢をさらに高めたい。
目指す生徒像 <ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組む生徒・家庭学習をしっかりと行う生徒 ・思いやりの心をもって行動する生徒・あいさつがしっかりできる生徒 ・規則やルールを基に正しく判断して行動する生徒 ・学校行事や部活動に意欲的に取り組む生徒 ・委員会活動、係の仕事、清掃をしっかりと行う生徒 ・自分の目標に粘り強く取り組む生徒 		家庭・地域の実態 ほぼ全生徒の保護者が、生徒を高等学校へ進学させたいと考えている。通学の利便性もあり進路先は多岐に渡り、おおむね90%弱が公立高校へ進学している。

本年度の重点目標 1. 様々な学習場面において、生徒の望ましい自己決定能力を高める指導を行う。 2. 生徒理解を基礎にし、自己実現を図る指導・支援を組織的・継続的に行う。 3. 能力・適性等を配慮し、主体的に進路選択・決定ができるよう指導・支援に努める。 4. 生徒の個性と社会性をバランスよく育てる。
--

進路指導・キャリア教育の全体目標 1. すべての教育活動を通じて、生徒一人一人の伸長及び進路実現を図る。 2. 将来に対する夢や希望をもとに、目的意識を持って日々の生活に取り組む姿勢を養う。 3. 「生きる力」を身に付け、主体的に自己の進路選択・決定ができる生徒を育成する。

育成すべき能力や態度（基礎的・汎用的能力）			
人間関係形成・社会形成能力 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が存在感をもち、楽しく生活できるような学級づくりの工夫 ・生徒会活動や係り活動、学校行事、部活動の在り方を理解させ、積極的に取り組む態度の育成 ・保護者、高等学校やハローワーク等の関係機関また地域社会との連携の深化 	自己理解・自己管理能力 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の中で、自己の能力や適正を伸ばしていく能力の育成 ・学び方やものの考え方を身に付け、自分の生き方を考える力の育成 ・様々な体験活動を通して、「将来の生き方」を考える態度の育成 	課題対応能力 <ul style="list-style-type: none"> ・分かる授業、成就感の味わえる学習の実践 ・働くことの意義や役割、働く喜びを体験できるような啓発的活動を企画・実践 ・適切な進路相談を通して一人一人の個性が輝く力の育成と指導・助言 ・よりよい生き方について、様々な角度から考えさせ、適切な価値観を身に付け、望ましい進路選択の態度の育成 	キャリアプランニング能力 <ul style="list-style-type: none"> ・将来の職業生活に必要な基礎的な知識や技能の習得 ・望ましい職業観、勤労観を養うための指導の充実 ・適切な進路選択や職業生活の適応に資する能力の養成 ・3年間を見通した進路学習の計画を立て系統性のある充実した指導

各学年の重点目標(別紙 指導内容系統図)		
第1学年 ◎目標をもって学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・中学校生活の見通しを立てる。 ・中学校生活の楽しさを知る。 ・働くことについて学ぶ。 ・集団の中で自分の生かす。 ・進路の計画を立てる。 	第2学年 ◎自分らしく生きる <ul style="list-style-type: none"> ・2年生の見通しを立てる。 ・自分の学び方を振り返る。 ・自分の特徴や個性を考える ・働く目的や意義を考える。 ・支え合う友人関係をつくる。 ・卒業後の進路について調べる。 	第3学年 ◎希望の実現を目指す <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方を考える。 ・卒業後の進路を検討する。 ・自分の適性や能力を調べる。 ・進路情報を集め、整理する。 ・自分に合った進路先を選ぶ。 ・励まし合う仲間をつくる。 ・自分の進路希望を実現する。

進路指導・キャリア教育実践のための基盤				
1 時期に応じた進路情報の提供・進路情報の提示 <ul style="list-style-type: none"> ・「進路だより」の発行 ・進路に関する掲示板の充実（壁面掲示、学級掲示「進路コーナー」の設置と工夫） ・進路資料室の充実 	2 全職員の協力体制の確立と充実した研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・校内での進路指導・キャリア教育研修の充実 ・進路指導・キャリア教育に関わる検討委員会の設置 	3 保護者会での情報提供や意見交換等の開かれた学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・進路説明会の実施 ・適切な進路指導を主にした教育相談の実施 ・授業参観、公開授業の実践と学級懇談における進路指導 ・キャリア教育啓発の実施 ・PTA高校見学会の実施 	4 関係機関や地域社会との密接な連携 <ul style="list-style-type: none"> ・上級学校訪問の実施 ・高等学校出前授業の実施 ・ハローワークとのキャリア教育の協働 ・中学校区小中キャリア教育連絡会の開催 ・「ふれあい講演会」の実施 	5 生徒指導の充実と学年・学級経営の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・共通認識のもとで行うキャリア教育（立志式の設定） ・職業体験学習の充実 ・生活ノートでの個別支援の充実 ・心のホット相談室、適応指導教室等の連携